

第6回小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会 会議概略

日 時 : 平成19年1月30日(火) 9:30 ~ 12:00  
・現地視察 9:30 ~ 11:40  
・会 議 11:45 ~ 12:00  
場 所 : 小樽市教育委員会庁舎3階 第2会議室  
欠席委員 : 石井委員、鈴木委員、高橋委員、田中委員、林委員、  
日 間委員  
事 務 局 : 教育部長、教育部次長(学校教育担当)、指導室長、  
教育部主幹(適正配置担当)、総務管理課長、  
学校教育課長、指導室主幹、学校教育課主査

(注)・発言にかかる委員の個人名は表記しておりません。  
は「野」です。

事務局

現地視察どうもご苦労様でした。

本日は急な欠席もございまして、石井委員、林委員、高橋委員、日 間委員、田中委員、鈴木委員、6名の欠席でございます。それでは委員長、会議の方よろしくお願いいたします。

委員長

今日は現地視察ということで、どうも皆様ご苦労様でございました。

第6回目の小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会を開催いたします。

時間もございませんので、本日は、審議事項につきましては、かなり端折らせていただきますが、今日の、会議録の署名人は、最初予定しておりました委員の方が欠席ということもございまして、本日はやはり名簿順で繰り上がった格好になりますけれども、山本委員と吉田委員にお願いしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。お願いいたします。

さっそく議題にはいります。今日は5カ所の小中学校を視察いたしましたけれども、みなさん大体どのような感想をお持ちか。そこら辺りから皆さんのご発言をお願いしたいと思っておりますが、まず、私の方から感じたことを申し上げます。

一番最初の長橋小学校ですが、これは現地(小樽中央自動車学校付近)に行ってみまして、(そこからは)バス通学のようにございました。(その辺りの児童は)幸小学校が距離的には近いんですが、必ずしも距離だけでは、通学通路といえますか、区域といえますか、それはなかなか判断できないものなんだということが良く分かりました。距離だけでは測れない。通学路といえますか、適正配置を考える場合には、必ずしも距離だけではない。やはりいろんな条件を考えなきゃいけないものだということが分かった訳であります。

次の末広中学校ですが、これは随分歩くものだなということを感じながらバスの中から見てたんですが。地図だけで見ますと高低差は良く分かりませんが、結構な坂道を長距離歩くことになるもんだなと思っておりました。特にここは高島の方からも通ってくると言いましたね。通学区域が高島の方も含んでということですから、結構ハードな道のりだなと思いましたが、中学校ではこのくらいでもいいのかなという感想でございます。

次の高島小学校は、大体1学年2学級3学級くらいの比較的小規模小学校でございました。ただ小規模とはいえ、私が通った小学校は2学級でございましたから、今考えると私も結構小規模小学校に通ってたんだなと思いました。ただ、空教室を上手に活用してるということでございます。空室の活用といえますか、その意味では高島小学校の児童は、比較的恵まれた教育環境にあるのではないかなという印象を持ちました。

それから祝津小学校は、これは複式学級でございまして、私は複式学級というのを見たのは初めてなのですが、多少イメージが変わりました。教育環境は、複式学級だからといって必ずしも劣悪だということはないという印象を持ちました。なかなか、ああいうオープンなスペースといいますか、そういうことも開放的で良いものだなと、率直なそういう感想を持ちました。ただ問題は、これから一人の入学者、それからゼロということが続くということになりますと、はたしてあれだけの施設、空間、設備、それがやはり効率的な使われ方と言えるのかどうか、こちら辺はやはり別途考える必要があるのではないかと。これから、通学区域等につきましては、具体的な計画を立てられることになりましようけれども、その辺のことを考える必要はあるだろうなど。恵まれた環境で多少うらやましい感じはいたしましたけれども、そうばっかりも言っておられないという地域の状況でございます。

それから最後の菁園中学校ですが、これは確かに立派なもので、中学校も随分建物から変わったものだなと。なかなか素敵な空間がございまして、各階に休憩室のようなちょっとした空間がありまして、洒落たイスなんか配置されているというのは、これはちょっと私の中学校のイメージはすっかり変わったということございまして大変参考になりました。

大ざっぱに、そのようなことを感じていた訳ですけども、皆さん何かございましたら、どんなことでも結構ですから。感想でも、あるいはご意見でも、印象でも結構でございますから何かございましたらご発言願います。

大体よろしゅうございましょうか。

(各委員うなずく)

委員長

現地視察も、やはり実際に見てみないと分からないということもございますね。特に私が感じましたのは、高低差というのは分からないものです。地図の上ではなかなか分からないなという気がいたしましたし、目で見てなるほど、通学距離というのはこんなにあるのかとか、実感として理解できたと思います。全部ではありませんでしたけど、そういう印象を持った訳でございます。これからまたいろいろ検討を続けていくことになりますけども、参考にさせていただければと思います。

それでは、次に議題(2)に入りますが、「検討委員会の意見整理」でございます。すでにお手元に、1回目から5回目までの意見整理が届いているかと思えますけども、これを事前に拝見していただきまして、何かございましたらご指摘をお願いしたいということでございます。印のついたのが新しく加わった部分ということでしたか。

事務局  
委員長

そうです。

そうですね、印のついた部分が新しく加わった部分でございます。1回目から5回目、前回の分まででございます。

よろしゅうございましょうか。

(各委員うなずく)

委員長

それでは、特に無いようでございますので、議題(3)ですが、次回の議題であります。中間まとめです。中間まとめは、現在、作成を続けているところでございます。これは今までここでご議論いただいたことを踏み台にいたしまして、一応、報告書のたたき台のようなことですけど、いろいろといま作成中でございます。間に合いましたら今日お示しして、意見交換する予定もありましたけれども、時間もございませんし、まだ完璧にできてる訳でもございませんので、次回以降に、この中間まとめについてのご審議をお願いしたいということでございます。これにつきましては、でき次第皆様のもとに、次回の会議以前に間に合うように送付いたしますので、事前にぜひ目をとおしていただいて、いろいろまたご指摘の点を、次回の会議でいただければと考えております。この点について、何か事務局からご説明はございますか。たたき台といいますか。

事務局

中間報告のたたき台ということで、現在、委員長の方と最終的な詰めをしてございます。もうじき、たたき台という形でお示しをしたいと思っておりますけれども、ただ、この中で、これまで皆様から意見として出ていなかった部分、その部分が検討委員会の中間まとめとして形にする上で、表記の必要があると思われる項目も出てきております。その辺につきましては、委員長と十分相談しながら、つけ加えた形で作成をしまして、事前にお知らせをして皆様に今後ご審議をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

委員長

そういうことでございますので、送付されましたらぜひ目をお通し願いたいと思います。本日予定しておりました議題は、以上でございますが、次回日程についてのご説明は何かありますか。

事務局

今まで、毎回月末ということでお願いをしてございましたけれども、今年は選挙の年になりまして、議会が例年より早まっております。議会が2月23日から開会の予定ということになっておりますので、その直前になるかと思っておりますけれども、その辺りで日程の調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長

では、あらためて日程調整はまた皆さんにお知らせがいくと思っておりますけど、またよろしくお願いいたします。

事務局

その他で、資料についての説明があるように聞いておりますけど、事務局から1回目の時にある程度膨大な資料をお配りしたのですが、その中で、「資料25」というのがございます。ページでいうと23ページになります。「出生率及び合計特殊出生率の推移」という表です。出生率及び合計特殊出生率の推移で、上の方の表の「17年度(6/1概数)」というのがあります。実は、昨年11月30日に、厚生労働省と北海道保健福祉部から確定数値が発表されました。概数よりちょっと数値が変わっているものですから、口頭ですがここでご報告いたします。17年度(6/1概数)の表の、右の方の「合計特殊出生率」「全国」「1.25」とありますが、17年度の確定数値は「1.26」です。それから「北海道」の数値が「1.13」とありますけれども、これは「1.15」です。小樽市については変更ありません。ということで、去年の国勢調査の関係で修正をされたという発表になっております。これは、5年に1回の国勢調査の年は大体、数字の確定がこういう形で変更するというようなことになっているようでございます。全国・北海道については出生率がちょっと上がったと、小樽市については変わらず、というようなことでございます。

委員長

ありがとうございました。以上でございますが、何かございますか。よろしいですか。予定しておりました議題、それから報告については以上でございます。特になければ時間ですしこれで終わらせていただいてもよろしいですか。それではまた次回よろしくお願いいたします。

(以 上)